

「榎尾川治水対策に関する地元住民と知事の意見交換会」の概要

1. 日 時：平成 23 年 1 月 28 日（金） 18：00～22：00

2. 場 所：JA いずみの横山支店（和泉市北田中町）

3. 出席者

- <大阪府> 橋下知事、井上都市整備部長ほか
- <地元住民> 榎尾川上流部（父鬼川合流部から上流 1.6 km 区間）において浸水被害の恐れおよび治水手法により影響を受けると考えられる地元住民
- <関係者> 関連する地元町会役員、和泉市 等

4. 概 要

知事からの説明

ダムは、本当にみなさんに安全・安心を与えることができるのか考えている。今日は、みなさんの意見を伺いたい。

住民の意見

ダムをすることで当面の安全を確保してほしい。

ダムを中止した場合、本当に 3 年で用地買収をして河川拡幅ができるか疑問。

知事は、ダムを中止するのに、ゴリ押しをしないと行ったが、ダム中止であればゴリ押しである。

今の話は、計画時点でやるべき話。当時なら知事の考えを支持した。

議会で議決して予算計上、工事契約をした知事がダムを止めている。議会民主主義に反する。

ダムを造って、もし人命を失うような被害が起きても地元は仕方がないが、脱ダムを選択して被害を受けたら地元として納得できない。

知事の意見

自然環境やコストで判断するものではない。みなさんの安全・安心を守ることが重要。

ダムも河川改修も 100% の安全・安心を与えるものでない。

今の世代のみでなく、次の世代にとって何があるべき姿なのかを考えてほしい。

ダム反対というのではなく、川を拡幅し、護岸や管理用通路の整備を行って安全な「まちづくり」を行うという、本当のあるべき姿を考えてもらいたい。

本日頂いた、実現可能性や地元のこれまでの協力は重く受け止めて、最終の判断をしたい。